



(メールアドレスを変更しました)

井上ひさしさんの志を受けついで ～日米安保の50年と憲法9条～

6月19日(土)、「九条の会」結成6周年記念行事も兼ねた標記の講演会が、日比谷公会堂で開催されました。この講演会には、会場一杯の2000人が参加しました。

講演では、作家の大江健三郎氏が「抑止力」(Power of Deterrence)のDeterとは相手を脅かすこと、威嚇することを意味すること、アメリカの核の傘が中国・アジアの緊張の原因となっていると指摘、「日本政府がとるべき道は、沖縄の普天間基地をはじめ在日米軍基地の縮小であり、憲法に基づき国の根本的あり方を変えていく必要がある」と述べました。

憲法学者の奥平康弘氏は、憲法九条で保障された「平和的生存権」と、第二五条の「国民の生存権」は密接不可分であること、さらに憲法九条は世界に広がっていることを指摘し、また、沖縄の人々は「米軍基地はいらない」、「撤去せよ」との痛切な思いをアメリカに示したと講演しました。

作家の澤地久枝さんは、「九条の会」は結成6年で、権力の「モグラ叩き」にあっても潰されないだけの勢力になった。ゲームの「モグラ叩き」では最後に「モグラ」が負けるが、「九条の会」は連帯の手をつなぐことも、世間に対し発言することもできるので、権力の圧力に屈しない力があると発言。井上ひさし氏の最後の作品「組曲虐殺」の「後に続く者を信じて走れ」の言葉を引用しつつ、「私たちが望んでいるのは平和で豊かな生活です。消費税率10%の方針は、庶民の生活を脅かすもので、許せない」と講演しました。

梅原猛氏、鶴見俊輔氏からもメッセージが寄せられ、三木睦子さんは高齢のため講演は辞退されましたが、同日の「呼びかけ人会議」には出席されたとの報告がありました。

井上ひさし氏の夫人ユリさんから「粘り強く、おおらかに、楽しく運動を続けましょう」との挨拶があり、「井上ひさしの九条への深い思いがすべて表現されている」(ユリさん談)「吉里吉里人」の一節を、井上氏と親交が深かった演劇家の佐藤修三氏が朗読しました。

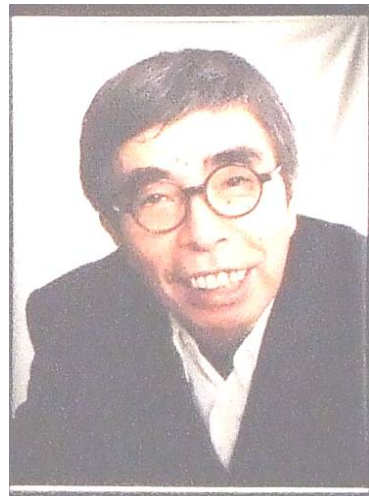
会場の参加者の活動を勇気づける集会でした。

(代田4丁目・俣野 景彦) JSA「東京支部つうしん」7月号に投稿

井上ひさしさんの志を受けついで

九条の会講演会

[日米安保の50年と憲法9条]



終戦記念日によせて 映画会 8月7日(土) 午後2時から

代田・九条の会では、二度と再び戦争を起こさない決意を込める月として、八月を考えています。終戦記念日を前に、映画会を開きますので、ご参加ください。

①千羽鶴 (14時から) 広島で被爆して10年後に原爆症でなくなった少女、佐々木禎子さんと、彼女のクラスメイトたちの奮闘によって建設された原爆の子の像設立を、その設立運動の最中に劇映画にした映画です。

②ひとりっ子 (16時から) 「お母さんは自衛隊や防衛大学が、いいか悪いかわからない。でも、戦争の匂いのする所へはお前をやりたくない！」防大の一次試験に合格した一人息子の新二に、とみはこう言って反対した。山本亘(井の頭沿線九条の会)、湯沢勉(代田・九条の会)が出演しています。 ②はシネマ・シネマ・シネマ灯倶楽部と共催

会場 ああ星葦館 クレープ店街の灯 奥 (梅丘1-16-4 Tel 03-3439-0902)

参加費: 500円

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

私の戦争体験—東京大空襲

昭和20年になると、戦局は厳しさを増した。サイパンを占領した米軍は、そこに空港を建設し、B29という高性能の爆撃機を配属し、日本本土の爆撃を開始した。

最初の東京大空襲は3月10日の下町への焼夷弾の大量投下で、大火災が発生し、この時の死者10万というのは広島への原爆にほぼ匹敵する。当時、私は早稲田大学理工学部の学生で、文科系の学生は、徴兵猶予の特典がなくなり、戦場へ駆り出されていた。理科系の学生はまだ徴兵を猶予されていたが、兵器工場で働いていた。それに加えて、週に一度、消防署に配属されて、空襲時の消火活動の手助けをするようになった。私が配属された消防署は、当時の深川枝川町の消防署で、初めての日が3月10日であった。消防署を訪ねたら、署の人が、「今日は初めてだから、泊らないで帰っていい」と言ってくれた。空襲で枝川町の消防署は全滅した。署員の一言で、私は命を救われた。

理工学部の学生の多くは、この日、消防署に泊まり、7名の学生が命を失った。大隈講堂で、慰霊祭が行われたが、亡くなった学生のお父上の一人が、壇上で「せめて、戦場で戦死してほしかった。」と言われて、男泣きに泣かれたのを、忘れることができない。

その後、現在の代田、梅ヶ丘地区を含む世田谷には5月の4度目の大空襲で、焼夷弾が投下されたが、下町程、民家が密集していなかったことと、まだ、畑が多く残っていたので、被害は、それまでの空襲に比べて少なかった。この空襲の時、我が家の上空で、低空飛行していた、B29に日本の戦闘機が体当たりしたのを見た。戦闘機の操縦士はパラシュートで脱出した。B29は撃破されたと思われたが、すぐには、落ちなかった。その後、経堂駅付近の線路際に、B29の残骸があるというので、見に行ったが、そのB29であったかどうかは、わからなかった。(代田3丁目・加藤 榮一)

集会等の紹介

7月24日(土) 13:00~

DVD “どうする安保” を観る

講演 “国民投票法施行から、憲法改正を考える” 講師 金井 克仁 氏 (弁護士)

会場 大東学園高等学校 視聴覚室 世田谷区船橋 7-22-1

主催 大東学園9条の会 資料代：一般 300円

7月31日(土) 14:00~

おしえて益川さん! ~科学×9条~

講師 益川 敏英 氏

会場 明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー 資料代：一般 500円

主催 実行委員会 (連絡先 Tel 080-3358-0275 長内)

ピアノソナタ「月光」による 朗読劇「月光の夏」特別割引のお知らせ

「日本の夏を語り継ぐ」企画として、劇団東演は2003年より毎年8月15日を中心に「朗読劇 月光の夏」を上演し、平和の尊さ、命の重さをピアノ演奏とともに感動的に伝えてきました。今年も北沢タウンホールで8月13日(金)~15日(日)の三日間上演されます。

代田・九条の会でも、平和の取り組みとして積極的に参加者を広げることになりました。今回は、特別に代田・九条の会を通して入場券を購入されますと、通常3000円が2700円に割引されます。夏休み中のことでもありますので、お子さん・お孫さん共々お申し込みください。高校生以下は1000円となります。なお、未就学のお子様は入場できません。(代田1丁目・劇団東演・横川 功)

- 代田・九条の会 特別割引 一般 3000円 ⇒ 2700円
(チケットは、お近くの代田・九条の会事務局員までご連絡ください。)
- タウンホールの地図、開演時間などは、チラシをご覧ください。

お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。

日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない

お詫び

6月13日(日)の「陸上自衛隊・広報センター」の見学会は、都合により中止いたしました。代田以外の会の方への連絡が不徹底で申し訳ありませんでした。



アサガオ